

背景

- 平成30年6月、国から「SDGs未来都市」に選定

課題

- SDGsに関する市民・事業者の認知度が低い。
 <堺市の環境に関する市民・事業者アンケート調査（H29）結果>
 「SDGsを知っている・聞いたことがある」人の割合
 市民・・・12.7% 事業者・・・15.9%

<SDGsとは>

SDGsとは、「Sustainable Development Goals」（持続可能な開発目標）の略。
 2015年9月、ニューヨークで開かれた国連総会において採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中核をなすもので、2016年から2030年までの15年間に、貧困や不平等・格差、気候変動、資源の枯渇、自然破壊などの様々な問題を根本的に解決することをめざす世界共通の目標。
 17のゴール（目標）と169のターゲットで構成されている。

事業目的

- SDGsに関する認知度、理解度向上に向けた市民・事業者等への普及啓発を行うとともに、環境局におけるSDGs施策を推進することにより、本市におけるSDGsの達成及びSDGs未来都市計画に掲げる2030年のあるべき姿の実現に寄与

事業内容

- ①SDGsの普及啓発
 - ・各種イベント等と連携した普及啓発の実施
 - ・SDGsをテーマにした事業者向けセミナー等の実施
 - ・SDGsパートナー制度（仮）の活用による様々なステークホルダーとのパートナーシップ強化
- ②環境局におけるSDGs施策の推進
 - ・使い捨てプラスチックの削減

【関連するSDGsのゴール】 ①本市におけるSDGsの達成及びSDGs未来都市計画に掲げる2030年のあるべき姿の実現に向けた基盤となるものであり、全てのゴールに関係
 ②廃棄物の発生抑制（ゴール12）、温室効果ガスの削減（ゴール13）、海洋環境の保全（ゴール14）に加え、まちの美観の向上（ゴール11）や食の安全・安心の確保（ゴール2）などのマルチベネフィットを創出

